

「他社事例」から学ぶ人材育成Ⅱ

應義塾大学大学院 特任教授 高橋 俊介



実学習時間

6h

難易度

★★

受講料

¥16,500

税込

学習目標と狙い

本講座では、人材育成の重責を担う方々をゲストに、自社がめざす事業ビジョンを達成するために取り組んでいる人材育成や人材マネジメントを参考にして、自社の人材育成の参考にする。

新入社員
若手社員
中堅社員
管理職
上級管理職
経営職



年齢が一周り以上も違う部下の考え方や仕事への姿勢がなかなか理解できずにいたが、いまどき若手の活用方法を視聴して、今の若本とどのように接して、どのように協同していけばよいかヒントを得ることができました。

学習プログラム

PDU

6

- 第1回 Jリーグにおける「個の育成」と「組織開発」
- 第2回 日本企業のグローバル化 ～DMG森精機の事例～
- 第3回 パナソニックのA Better Workstyle
～「社外留職」と「社内複業」～
- 第4回 ソニーのキャリア・カンパス・プログラム
～ベテラン・シニア社員のキャリア支援策～
- 第5回 いまどき若手の活用法
- 第6回 イノベティブな研究開発人材とは

【概要】

競争環境が大きく変化していく今日においては、会社組織全体が新しい戦略やビジネスモデルを実現・実行するために機動的に変わっていくことが必要となりますが、大企業になればなるほどこれまでの慣習が染みつき変わることが難しくなります。過去に大量採用した世代が組織の中に多く残る一方で、若手社員と中堅以上との世代間ギャップは顕著であり、右肩上がりの時代のように一致団結して成果創出に取り組む、ということが日増しに難しくなっています。そんな背景であっても競争に勝つために、大手企業も様々な施策を検討し、組織と人材の活性化を図っています。本講座では、人材育成や組織風土改革の重責を担う方々をゲストにお招きし、自社の目指す事業ビジョン達成のために取り組んでいる人材育成や人材マネジメントの事例を紹介します。他社の事例を目にするだけで、自社の中では普段考え付くことさえない視点や、無意識にできない・すべきでないと考えていたことなどに気づき、人をどうやって活かし共に成長していくのか、ということゼロベースで見直すきっかけを提示します。

受講期間

6ヶ月

講義

6回(平均60分)

理解度テスト

なし

演習

なし

チャメール

あり

修了証

あり

修了アンケート

なし

制作年

2017



10736